

ICTを活用して、子どもたちの「確かな学力」を育成します。

学校における ICT を活用した学習場面

A 一斉学習 挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。	B 個別学習 デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。		C 協働学習 タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。	
A1 教師による教材の提示  画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	B1 個に応じた学習  一人一人の習熟の程度等に応じた学習	B2 調査活動  インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	C1 発表や話し合い  グループや学級全体での発表・話し合い	C2 協働での意見整理  複数の意見・考えを議論して整理
B3 思考を深める学習  シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	B4 表現・制作  マルチメディアを用いた資料、作品の制作	B5 家庭学習  情報端末の持ち帰りによる家庭学習	C3 協働制作  グループでの分担、協働による作品の制作	C4 学校の壁を越えた学習  遠隔地や海外の学校等との交流授業

これからの社会で求められる
「情報活用能力」もアップ 

授業前の時間に
学習支援ソフトで
短時間学習

タブレットに自分の考えを書き込んだり、
作品を作ったりしてデータで提出

学習支援ソフトを使って
単元テストを実施

電源オン
取り出し

登校



朝学習



1校時



2校時



3校時

タブレットを使って
発表・交流



4校時

タブレットのある学校生活
(小学校3年生以上の活用イメージ)
※タブレットの活用が可能な場面に関する
例であり、この通りになるわけではありません

配膳を待つ間に
学習支援ソフトで
短時間学習



給食
配膳

昼休み



電源オフ
片付け

下校



夕学習

6校時



5校時



昼休みに自主的
に学習支援ソフトで短時間学習

下校前の時間に
学習支援ソフトで
短時間学習

タブレットを使って調
べ学習や動画視聴

先生からタブレットで
参考資料を配布



家庭に持ち帰り
※各学校で判断

